

**文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会
世界文化遺産特別委員会（第5回）
議事要旨**

1. 日時 平成26年2月25日（火）14:00～15:40
2. 場所 中央合同庁舎第7号館東館（文部科学省）3階 3F1特別会議室
3. 出席者 （委員）西村幸夫委員長、稲葉信子委員長代理
岡田保良委員、小野昭委員、河野俊行委員、
小浦久子委員、小風秀雅委員、五味文彦委員、
斎藤英俊委員、佐藤禎一委員、佐藤信委員、
清水憲一委員、中村俊郎委員、藤原恵洋委員
（文化庁）青柳長官、山下文化財部長、大和文化財鑑査官、
高橋記念物課長、北山世界文化遺産室長、
本中記念物課主任文化財調査官、
西記念物課文化財調査官、その他関係官

4. 議事要旨

世界文化遺産特別委員会の議事開始にあたり、本会の審議が世界遺産一覧表への推薦候補に関する調査であることから、会議は非公開で行うこととし、後日、議事要旨を公開することとした（「文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会の会議の公開について」8）による。

（1）「富岡製糸場と絹産業遺産群」について

文化庁から「富岡製糸場と絹産業遺産群」について、昨年10月にイコモスの要請に応じて追加情報を提出して以降、諮問機関から更なる追加情報の要請はなかったことが報告された。また、2月14日から15日にかけての大雪によって生じた構成資産への被害及び現時点での対応状況について文化庁から報告された。

（2）「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」について

文化庁から「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」について、本年1月末に推薦書正式版がユネスコ世界遺産センターに提出されたことが報告された。

（3）文化遺産及び自然遺産を世界遺産登録に向けて推薦する場合の取扱等について

今後の世界文化遺産及び世界自然遺産の推薦書正式版を提出するに当たっては閣議了解を経て提出することが閣議決定されたことについて報告された。

(4) 「富士山」の保全状況報告の進捗状況について

文化庁から、本年1月22日に山梨・静岡両県が主催する「富士山世界文化遺産協議会」が開催され、利用者負担及びイコモスによる評価と世界遺産委員会決議への対応について取り上げられたことが報告された。また、保全状況報告書の提出に向けたスケジュール案が説明された。

(5) 今後の文化審議会における世界文化遺産推薦候補選定プロセスについて

文化庁から、今後の文化審議会における世界文化遺産推薦候補選定プロセスの検討状況について説明があり、質疑と意見交換が行われた。

(6) その他

「真正性に関する奈良文書」の採択20周年に向けて、同文書に関する諸課題を整理するための専門家会合（本年2月20～23日開催）の概要が文化庁から報告された。

※この議事要旨は、事務局が作成した暫定版であり、今後、内容が一部変更される可能性があります。